

ウシガエルの解剖

本科コース・理数コースともに、1年生の理科の授業で「イカの解剖」を行います。スルメイカの解剖を通して、軟体動物の体の構造や生態についての理解を深めます。さらに理数コースでは、セキツイ動物の、より本格的な解剖実習として、ウシガエルの解剖を行いました。

校長先生の訓話

解剖実習は、カエルに麻酔をかけるところからスタートします。つまり、実習の途中どこかのタイミングで、自分たちの手でカエルの命を奪ってしまうことになります。そのため、尊い命を犠牲にして学ばせていただくことの意味をしっかりと考え、きちんとした心構えで解剖に臨んでもらいたいという思いから、はじめに校長先生から訓話をさせていただきました。直前の休み時間までは、大きなウシガエルを見て大騒ぎだった生徒たちですが、校長先生の話が始まると水を打ったように静かになり、みな真剣な眼差しで聞いていました。



解剖スタート

いよいよ解剖スタートです。3～4人1班で1匹のウシガエルを解剖しました。はじめは苦手意識をもっていた生徒も、体のつくりや機能に納得・感心しながら、丁寧に作業を進めていきました。

カエルの供養

実習の後は、感謝の気持ちも込めて、カエルのご供養をしました。仏教専修科の先生による読経のあと、全員でお焼香をしました。今後のサイエンスは、ますます生命倫理と切り離せなくなっていくはずです。生物の勉強だけでなく、命の大切さについても、改めて意識する機会になればと思います。

